

要 旨

電子マネーの普及に関する一考察

小 野 智 士

現在、我々を取り巻く社会は、デジタル技術の進歩やインターネット、パソコンの普及などによって、急速に高度情報通信社会へと変化しつつある。それに伴って、インターネット上で決済をしたいというニーズが高まり、電子マネーが注目されるようになってきた。ここ数年でJR東日本のSuicaをはじめとする公共交通機関で利用できる電子マネーの普及で「電子マネー」自体も認知されてきている。電子マネーが認知され始めてから電子マネーの発行枚数・対応の端末台数は、増加を続けている。伸び率は、発行され始めた一頃と比べ鈍化したとはいえ、引き続き高い水準にある。¹⁾ このように利用環境が拡大する中で、電子マネーの決済金額や件数は、増勢を強めている。日本銀行決済機構局の『最近の電子マネーの動向について (2012年)』などをみると、1枚あたりの決済金額・件数は緩やかな増加を続けており、発行枚数の増加と相まって全体額・件数の増加に寄与している。

更に今や電子マネーはICカードの発達により交通機関や流通機関、金融機関、行政機関だけではなく、大学などの教育機関においても普及している。同様に貨幣価値の保存方法としてICカード型だけではなく、サーバー型などの電子マネーも普及しているのが現状である。

本研究では電子マネー研究の検証観点として、日々進化する電子マネーの本質を貨幣論、金融論の観点から修学、電子マネーの歴史を先行研究等から学ぶことにより電子マネーが抱えている問題点の抽出をすること。また電子マネーに必要な技術的プラットフォーム、決済業者・企業、電子マネー・電子商取引における加盟店、ICカードなどのツール使い勝手、使用場面・目的などをより具体的に考えていくことにより、クローズドサークルという環境における電子マネーの将来性について探求し、キャッシュレスについての考察、とくに、イギリスのMondex（モンデックス）で用いられているオープンループ型電子マネーと日本国内の様々な電子マネーで用いられているクローズドループマネーを複合的に組み合わせた方式の電子マネー（ここではコンプレックスループ型とする）を発案し、電子マネーの普及への提案を考察していくものとする。電子マネーが今後現在国内においてのような企業の一サービスといった側面でしかないものに留まるのか、貨幣のような確立された決済手段になり得るのか、それを踏まえた上でこのコンプレックスループ型電子マネーといった新しい形の電子マネーの提案をしていきたい。

コンプレックスループ型電子マネーは机上の空論ではない。実際にクローズドループ型は国内の主流であるし、オープンループ型電子マネーもモンデックスという事例がある。技術的な側面を見ても通信機能であったりFelicaポケットなどの既存技術の応用で事足りる。何が必要かと言われれば政府、企業、金融機関の連携、交互サポートが絶対条件である。現行の企業サービスツールとしての電子マネーではなく、海外の電子マネーのように金融機関、政府が筆頭として参画しなければ電子マネーは名前負けのただの販促ツール、サービス止まりとなる。著者は電子マネーには貨幣とならぶ決済手段、いや、それ

1) 『最近の電子マネーの動向について (2008年)』ではICカード型電子マネーの発行枚数は7,326万枚、同2012年版においては2012年6月段階で1億8,217万枚となっている。

以上に貨幣が金などを食べてしまったように、電子マネーが現在の貨幣を凌駕できる可能性があると考えている。その点でこのコンプレックスループ型電子マネーの提案は現在の電子マネー業界に一石を投じるものとして本研究は十分な意味を持っている。

本研究の構成は次の通りである。第1章はそもそも電子マネーとはどういったものなのか電子マネーの基礎知識として、電子マネーの定義、特徴、種類等を記述している。第2章では電子マネーというものが生まれた背景、普及が失敗した歴史、なぜ今急激な普及が成功しているのかを述べる。第3章では電子マネーが貨幣であり得るのかを貨幣論の言葉を借りて考察している。第4章では国外の電子マネーの事例を上げる事で国内の電子マネーと比較している。これらと比較することで日本国内の電子マネーが世界的にどのような位置づけであるのか、今後の発展のための一考查材料として記述している。第5章では本研究の核となる新しい電子マネーの形であるコンプレックスループ型電子マネーについての記述である。現在日本国内で主流となっているクローズドループ型電子マネー（後述）とオープンループ型電子マネーの機能を複合的に組み合わせた新しい形の電子マネーを提案し、それがどのように導入すべきかなどを現状を分析したうえで記述している。

キーワード：

オープンループ型電子マネー、クローズドループ型電子マネー、コンプレックスループ型電子マネー、貨幣、企業ポイント、貨幣機能